

事業所名 果実の木 求名(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日 2025年 3月 20日

法人（事業所）理念	・ユニーク・パフォーマンス … 様々な経験を通じて児童の好き・得意を伸ばして自信に繋げ、将来社会に出た時に何事にも自信を持って取り組むことができる人物を育てる。 (個性) (能力)		
支援方針	・様々な活動を通じて色々な体験をし、好き・得意を発見できるように支援する。また、好き・得意を伸ばすことで自信につなげ、苦手なことへの挑戦意欲を養う。 ・ソーシャルスキルトレーニング・運動療育・集団療育を通じて、ルールの理解、適切なコミュニケーションスキルを身に付けることができるよう支援する。		
営業時間	9時30分から18時30分	送迎実施の有無	○あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・利用時の健康チェック(検温等)を行い、児童の体調に合わせた内容での運動療育を提供する等、その日の状態・体調に合わせた支援を行う。 ・基本的な生活スキル(身支度、食事、排泄、片付け、手洗い、等)の習得、基礎体力の向上、スケジュールに合わせた生活ができるよう支援する。	
	運動・感覚	・グラウンドでの運動(粗大運動)を通じて、基礎体力の向上と日常生活に必要な不可欠な動作の発達を促す。 ・制作・食育等での微細運動を通じて、手・指先の巧緻性を高められるよう支援する。 ・チーム分けをした運動や、皆でおやつ・食事作りをすることで、友達と協力する大切さ、協調性、自主性を身に付けられるよう支援する。	
	認知・行動	・利用時のスケジュールが分かるよう、口頭だけでなくホワイトボードに絵カード・文字でも示し、タイマーを使用して終わりの時間が分かりやすいよう支援する。 ・買い物体験等を通じ、数字・金銭感覚を養う。 ・周辺散策等の活動を通じ徒歩での移動に慣れ、交通ルールを理解し、集団行動ができるよう支援する。また、屋外での危険を認識する力を養う。	
	言語 コミュニケーション	・様々な年齢の児童と交流を持つことで、コミュニケーションスキルだけでなくルールや物事の善悪を学べる環境を作る。 ・自由時間や活動時間を通じて多くの言葉に触れ、語彙力を高め他者との適切なコミュニケーションのとり方を学ぶ。 ・言葉で説明するのが苦手、自分の気持ちをどの言葉で表現したら良いか分からない児童に対しては、5W1Hでの説明や適切な言葉(言葉遣い)をその都度伝える。 ・言葉での表出が難しい児童に対しては、絵カードを使った意思確認、ジェスチャーやカード(絵・写真)を自発的に示すことができるよう支援する。	
	人間関係 社会性	・異年齢の児童との交流で、年上・年下に対しての適切な関わり方を学べるよう支援する(年下の児童には優しく接する、困ったことがあったら年上の児童に頼る、等)。 ・小集団のチームに分かれて活動を行う際は団結して相手と勝負する等、協調性を身に付けられるよう支援する。 ・買い物体験、電車の乗車体験、お祭りへの参加等を通じて、公共の場でのルール・マナーを学び、身に付けられるよう支援する。	
家族支援	・日々の児童引き渡し時に家庭での様子を確認、保護者の悩み・心配事に対して助言し、支援方法等の情報共有を行う。 ・必要に応じてモニタリング以外での面談・家庭訪問を行い、家族への必要な支援を行う。	移行支援	・必要に応じて学校に訪問し、児童の支援方針・情報共有を行う(日々の様子は、学校への迎え時に情報交換を行う)。 ・児童の事業所での様子を学校・他事業所・相談支援事業所に伝え、支援方法を共有し、進級・進学時にスムーズに環境に慣れることができるよう支援する。
地域支援・地域連携	・事業所での活動を通じ、他事業所・学童・事業所周辺の住民等との関わりを持つ。また、他事業所のイベントに参加し、交流を図る。 ・自立支援協議会、放デイ連絡会等の地域の関係機関との連携を行う。 ・学校・他事業所・相談支援事業所と連携し、サービス担当者会議に積極的に参加する。	職員の質の向上	・事業所内研修(系列の事業所とのオンライン研修、月1回) ・ケース会議、毎日のミーティング(児童の申し送り) ・外部研修(虐待防止、ハラスメント防止、感染症予防、苦情解決、合同新人研修会、等)
主な行事等	・季節のイベント(やっさ祭見学、流しそうめん、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣、等) ・その他の外出活動(工場見学、ぬれ煎餅の焼き体験、お花見、等) ・避難訓練(年2回)、防犯訓練(年1回)		